

基本は、介護を受ける本人や
配偶者の年金や貯蓄から

不足分は、家族が援助すること
になります



介護費用に困ったら ▼ 地域包括支援センターへ



- ①費用の負担を抑えられる介護施設の検討
- ②介護費用の負担軽減制度の紹介・活用
- ③生活保護制度の利用…など

40歳からの介護知識 10 介護にかかるお金

親の介護にかかるお金は、誰が負担するもの？

- (1) 介護にかかる費用は、本人や配偶者の年金や貯蓄から充当するのが基本です。
- (2) それでも不足する場合は、その分を家族が援助することになります。
- (3) 介護費用の捻出に困ったら、介護の専門家(地域包括支援センター)に相談しましょう。

親の介護費用については、本人の資産状況や家族の経済力などを考慮しながら、親が元気なうちから、家族みんなで話し合っておくことが大切です。

平均的な介護費用



平均的な介護期間
61.1 ヵ月
(5年1ヵ月)



出典：(公財)生命保険文化センター「2021(令和3)年度生命保険に関する全国実態調査(速報版)」

【1】平均的な介護費用とは？

介護にかかる費用は、一時的なもの、毎月かかる費用とに分けられます。

お住まいの状況や、要介護の状態にもよりますが、

たとえば介護リフォームが必要になったり、ポータブルトイレや介護ベッドが必要になったり、それらのような一時的に必要な費用は、平均で740,000円と試算されています。

加えて、介護サービスを受けたり、介護おむつなどの継続購入などの、

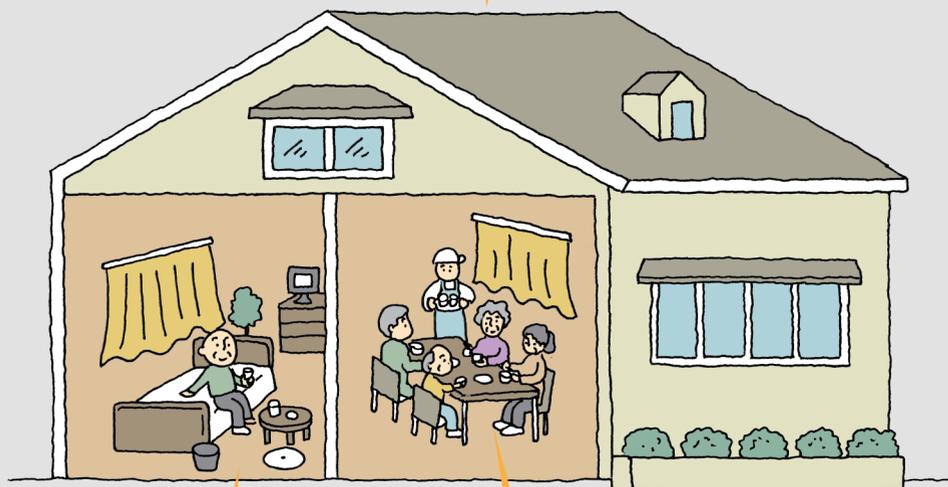
毎月必要な費用は83,000円で、それが平均して61.1ヶ月(5.1年)くらい続くと言われていました。

ただ介護費用は個人差が大きく、このデータはあくまでも平均値だということで把握しておきましょう。

施設サービスの1ヵ月の自己負担の目安 要介護5で、特別養護老人ホームの個室を利用した場合

出典：厚生労働省「サービスにかかる
利用料」を参考に作成

施設サービス費の1割
約 **27,500** 円/月



居住費
約 **60,000** 円/月

食費
約 **43,300** 円/月

日常生活費
約 **10,000** 円/月

【2】介護施設を利用する場合の費用は？

介護が必要になったときに、在宅か、施設に入るかという大きな選択肢があります。
また介護施設と一口にいても、様々な種類がありますし、介護を必要とするかたの要介護度や、希望するお部屋の種類(個室・相部屋)などによっても変わります。
施設サービスは、原則的に「入居」という形になりますので、
これまでのお住まい同様、居住費、食費、日常生活費などは自己負担となります。
つまり「家賃・光熱費」と「生活費」に「介護サービス費」が加わってくるのが基本です。
ただ安心感や、家族介護の負担を減らすという、費用以上のメリットもあります。

区分	在宅サービス 1ヵ月限度額	自己負担額 (1割)
要支援1	50,320 円	5,032 円
要支援2	105,310 円	10,531 円
要介護1	167,650 円	16,765 円
要介護2	197,050 円	19,705 円
要介護3	207,480 円	27,048 円
要介護4	309,380 円	30,938 円
要介護5	362,170 円	36,217 円



【3】介護保険がどこまで補助してくれるか？

要介護認定を受けると、介護保険を使って、介護サービスを受けることができます。
とはいうものの、あれもこれもヘルパーさんをお願いすると、膨大な費用が発生します。
これをすべて介護保険で賄えるかというと、そうではありません。
介護保険を使ってサービスを利用できる「限度額」が、要介護度によって定められています。
介護保険はサービスにかかった費用の、
1割(一定以上所得者の場合、2割~3割)を負担することで受けられますが、
限度額を超えてサービスを利用すると、その分が全額自己負担となります。